



2025年3月期 第2四半期 (中間期) 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 相模ゴム工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5194 URL <https://sagami-gomu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大跡 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉田 邦夫 TEL 046-221-2311
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	3,024	△5.3	38	△86.1	538	56.6	390	168.3
2024年3月期中間期	3,193	12.8	278	△31.3	343	△65.0	145	△81.6

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 842百万円(153.3%) 2024年3月期中間期 332百万円(△77.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	35.93	—
2024年3月期中間期	13.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	18,598	10,837	56.7
2024年3月期	17,716	10,103	55.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 10,551百万円 2024年3月期 9,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	3.1	500	14.6	400	2.7	240	486.0	22.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	10,937,449株	2024年3月期	10,937,449株
2025年3月期中間期	81,045株	2024年3月期	80,945株
2025年3月期中間期	10,856,454株	2024年3月期中間期	10,856,837株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、景気は総じて緩やかな持ち直しの動きが続く一方で、消費者物価は依然として上昇を続けており消費者マインドの改善に足踏みが見られるなど力強さに欠ける展開となっております。

また、世界経済については、中国の経済成長の減速や主要国の金融政策の動向、為替相場の変動、ウクライナ・中東情勢の長期化に伴う地政学リスクの高まりによる影響が懸念される等、総じて先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は3,024百万円(前中間連結会計期間比5.3%減)、営業利益は38百万円(前中間連結会計期間比86.1%減)、為替差益552百万円を計上し、経常利益は538百万円(前中間連結会計期間比56.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は390百万円(前中間連結会計期間比168.3%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

ヘルスケア事業は、ラテックス製コンドームが販売価格の見直しにより収益が向上しましたが、ポリウレタン製コンドームが国内需要の低迷やマレーシアからの仕入製品コストの増加により、減収減益となりました。

この結果、売上高は2,321百万円(前中間連結会計期間比5.0%減)、営業利益は424百万円(前中間連結会計期間比15.5%減)となりました。

② プラスチック製品事業

プラスチック製品事業は、販売価格の修正を行うも、販売数量減や不安定な原料価格により、厳しい収益環境となり、販売価格の再修正も検討すべき状況となりました。

この結果、売上高は622百万円(前中間連結会計期間比1.5%減)、営業損失は53百万円(前中間連結会計期間は営業損失3百万円)となりました。

③ その他

入浴・介護サービス及びその他の事業の売上高は79百万円(前中間連結会計期間比31.7%減)、営業損失は41百万円(前中間連結会計期間は営業損失38百万円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、電子記録債権が減少し、固定資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ882百万円増加し、18,598百万円となりました。

負債合計は、短期借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ147百万円増加し、7,760百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ734百万円増加し、10,837百万円となりました。

この結果、当中間連結会計期間末の自己資本比率は1.1ポイント増加し、56.7%(前連結会計年度末は55.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、為替相場の動向やさまざまな要因を含めて、適正かつ合理的に算定することができ次第、適宜修正を公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,192,417	1,283,793
受取手形及び売掛金	1,167,420	1,098,397
電子記録債権	1,295,886	1,145,754
棚卸資産	2,187,132	2,325,395
その他	22,529	90,134
貸倒引当金	△30,620	△27,422
流動資産合計	5,834,766	5,916,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,173,948	4,461,433
減価償却累計額	△1,800,095	△1,912,516
建物及び構築物(純額)	2,373,852	2,548,917
機械装置及び運搬具	13,232,639	14,629,706
減価償却累計額	△5,914,363	△6,730,506
機械装置及び運搬具(純額)	7,318,276	7,899,200
土地	1,069,970	1,088,307
建設仮勘定	56,006	65,209
その他	324,404	359,034
減価償却累計額	△232,500	△244,848
その他(純額)	91,904	114,186
有形固定資産合計	10,910,010	11,715,821
無形固定資産	7,693	6,416
投資その他の資産		
投資有価証券	804,741	813,083
繰延税金資産	29,175	24,399
退職給付に係る資産	44,706	50,444
その他	85,923	72,832
貸倒引当金	△619	△550
投資その他の資産合計	963,925	960,210
固定資産合計	11,881,629	12,682,448
資産合計	17,716,395	18,598,500

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	310,412	218,713
電子記録債務	289,359	252,939
短期借入金	5,323,927	5,553,231
未払法人税等	161,712	154,325
前受金	11,187	33,384
賞与引当金	77,575	92,364
その他	542,600	662,326
流動負債合計	6,716,775	6,967,284
固定負債		
長期借入金	420,897	283,871
長期預り保証金	2,000	2,000
退職給付に係る負債	75,131	93,442
役員退職慰労引当金	392,835	408,906
資産除去債務	5,400	5,400
固定負債合計	896,263	793,619
負債合計	7,613,038	7,760,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,436	547,436
資本剰余金	676,518	676,518
利益剰余金	8,495,806	8,777,281
自己株式	△36,308	△36,405
株主資本合計	9,683,451	9,964,830
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	427,191	432,788
為替換算調整勘定	△265,859	153,942
その他の包括利益累計額合計	161,331	586,730
非支配株主持分	258,573	286,034
純資産合計	10,103,357	10,837,595
負債純資産合計	17,716,395	18,598,500

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,193,414	3,024,069
売上原価	2,268,866	2,251,905
売上総利益	924,548	772,164
販売費及び一般管理費	646,413	733,470
営業利益	278,135	38,693
営業外収益		
受取利息	6	9
受取配当金	9,622	11,624
為替差益	203,043	552,677
作業くず売却益	3,993	3,927
助成金収入	170	2,557
その他	3,737	4,149
営業外収益合計	220,572	574,946
営業外費用		
支払利息	62,346	69,982
環境整備費用	89,692	-
持分法による投資損失	2,900	5,242
その他	0	0
営業外費用合計	154,939	75,225
経常利益	343,768	538,414
特別利益		
固定資産売却益	174	20
関係会社清算益	-	8,346
受取保険金	-	2,137
特別利益合計	174	10,504
特別損失		
固定資産除売却損	19,000	5,249
関係会社整理損	-	9,500
特別損失合計	19,000	14,749
税金等調整前中間純利益	324,941	534,168
法人税等	202,462	145,286
中間純利益	122,479	388,882
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△22,870	△1,157
親会社株主に帰属する中間純利益	145,349	390,040

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	122,479	388,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129,571	5,597
為替換算調整勘定	78,336	456,698
持分法適用会社に対する持分相当額	2,433	△8,278
その他の包括利益合計	210,340	454,018
中間包括利益	332,820	842,900
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	347,204	815,439
非支配株主に係る中間包括利益	△14,384	27,460

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	324,941	534,168
減価償却費	314,771	332,229
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,459	△3,267
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,406	14,789
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,386	18,242
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△51,568	16,071
受取利息及び受取配当金	△9,628	△11,634
支払利息	62,346	69,982
為替差損益(△は益)	△40,807	△320,742
持分法による投資損益(△は益)	2,900	5,242
有形固定資産除売却損益(△は益)	18,826	5,229
関係会社清算損益(△は益)	-	△8,346
売上債権の増減額(△は増加)	△576,732	267,393
棚卸資産の増減額(△は増加)	286,376	44,144
仕入債務の増減額(△は減少)	△110,187	△442,293
その他	△1,722	23,848
小計	231,849	545,058
利息及び配当金の受取額	9,628	11,634
利息の支払額	△61,998	△66,973
法人税等の支払額	△206,372	△150,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,892	339,095
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68,724	△28,179
有形固定資産の売却による収入	174	20
投資有価証券の取得による支出	△242	△276
無形固定資産の取得による支出	△215	-
関係会社株式の取得による支出	-	△2,400
関係会社の清算による収入	-	13,754
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,009	△17,080
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△449,084	△284,926
自己株式の取得による支出	△132	△96
配当金の支払額	△108,409	△108,563
財務活動によるキャッシュ・フロー	△537,626	△243,587
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,226	12,947
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△623,301	91,375
現金及び現金同等物の期首残高	1,849,736	1,192,417
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,226,435	1,283,793

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表及び連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当中間連結会計期間において、当社の持分法適用関連会社であったudonudon INC. について解散及び清算したため、当中間連結会計期間をもって持分法適用の範囲から除外しております。

また、当中間連結会計期間において、新たに出資したudon udon TOKYO株式会社を持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ヘルスケア 事業	プラスチ ック製品 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	2,444,536	632,111	3,076,648	116,766	3,193,414	—	3,193,414
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	2,444,536	632,111	3,076,648	116,766	3,193,414	—	3,193,414
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,444,536	632,111	3,076,648	116,766	3,193,414	—	3,193,414
セグメント利益 又は損失(△)	502,440	△3,159	499,281	△38,830	460,450	△182,315	278,135

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、巡回入浴等のサービスや日用雑貨品等を製造・販売しております。

2 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ヘルスケア 事業	プラスチ ック製品 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	2,321,537	622,749	2,944,286	79,783	3,024,069	—	3,024,069
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	2,321,537	622,749	2,944,286	79,783	3,024,069	—	3,024,069
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,321,537	622,749	2,944,286	79,783	3,024,069	—	3,024,069
セグメント利益 又は損失(△)	424,781	△53,507	371,274	△41,061	330,213	△291,519	38,693

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、巡回入浴等のサービスや日用雑貨品等を製造・販売しております。

2 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。